



天井に投影された星空を見上げる患者たち（松江市で）

闘病に癒やしの星空

松江の病院でプラネタリウム

外出が困難な入院患者たちに、屋外で星を見るような感覚を味わってもらおうと、松江市の国立病院機構松江医療センターで29日、プラネタリウムの観賞会が開かれた。

同センターが、全国の病院や学校でプラネタリウムの観賞会を開いている一般社団法人「星つむぎの村」（山梨県北杜市）の協力を

得て開催。会場の大会議室では、夏の大三角や12星座、太陽系の惑星が天井に投影

され、約50人の患者から、「おおっ」と歓声が上がっていた。
車椅子から星空を見上げた山下望里さん(33)は「なかなかお出かけもできないので、この日がずっと楽しみでした。すごく感動しました、癒やされました」と語り、「いつか本物の星空も見たい」と笑った。